

リハビリテーション学科の方向性について

県内理学療法士・作業療法士養成施設一覧

	養成所名	学科等	定員	所在地
大学 (公立)	県立保健福祉大学 保健福祉学部 リハビリテーション学科	理学療法学専攻	20人	〒238-8522 横須賀市平成町1-10-1
		作業療法学専攻	20人	
大学 (私立)	北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科	理学療法学専攻	45人	〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1
		作業療法学専攻	40人	
	昭和大学 保健医療学部	理学療法学科	30人	〒226-8555 横浜市緑区十日市場町1865
		作業療法学科	30人	
	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部	理学療法学科	80人	〒250-8588 小田原市城山1-2-25
		作業療法学科	40人	
	湘南医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40人	〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃16-48
		作業療法学専攻	40人	
(参考) 専門学校 (私立) 4年制	横浜リハビリテーション 専門学校	理学療法学科	80人	〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町550-1
		作業療法学科	40人	
	茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	理学療法学科	70人	〒253-0061 茅ヶ崎市南湖1-6-11
		作業療法学科	30人	

(参考) 県内の理学療法士・作業療法士養成施設の立地状況

資料 3



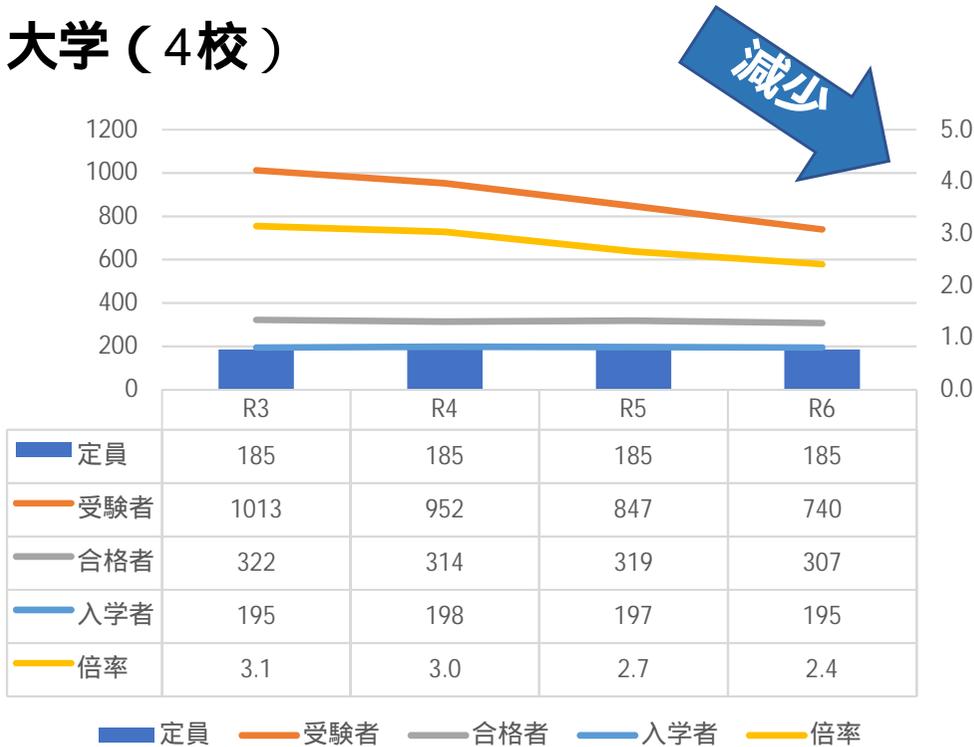
出典：国土地理院

リハビリテーション学科の方向性について

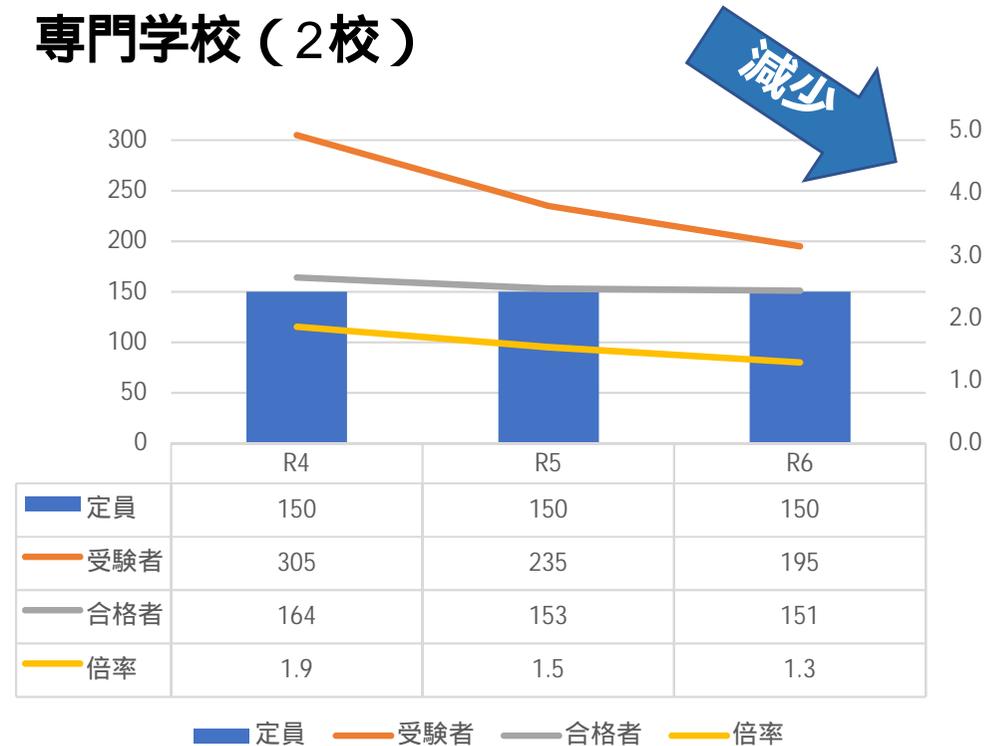
県内学校の入学状況（理学療法士）

全体的に受験者、倍率が減少傾向

大学（4校）



専門学校（2校）



- ・ 神奈川県立保健福祉大学
- ・ 北里大学
- ・ 国際医療福祉大学
- ・ 湘南医療大学

昭和大学は令和5年度よりリハビリテーション学科で統合され、理学・作業療法士別の入学者情報の掲載がないため割愛

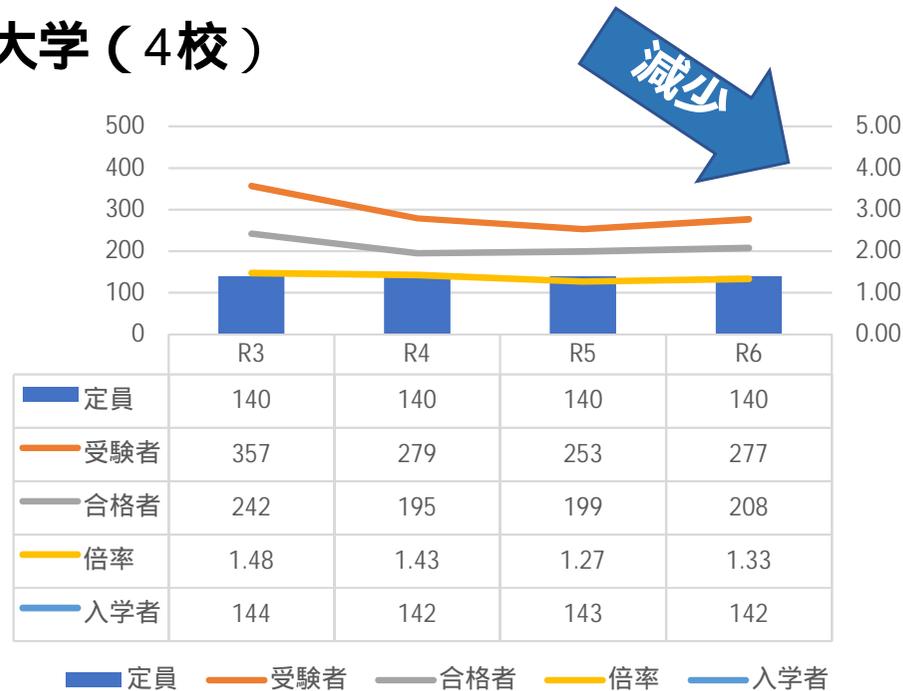
- ・ 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
 - ・ 横浜リハビリテーション専門学校
- 入学者情報については一部掲載がないため割愛

リハビリテーション学科の方向性について

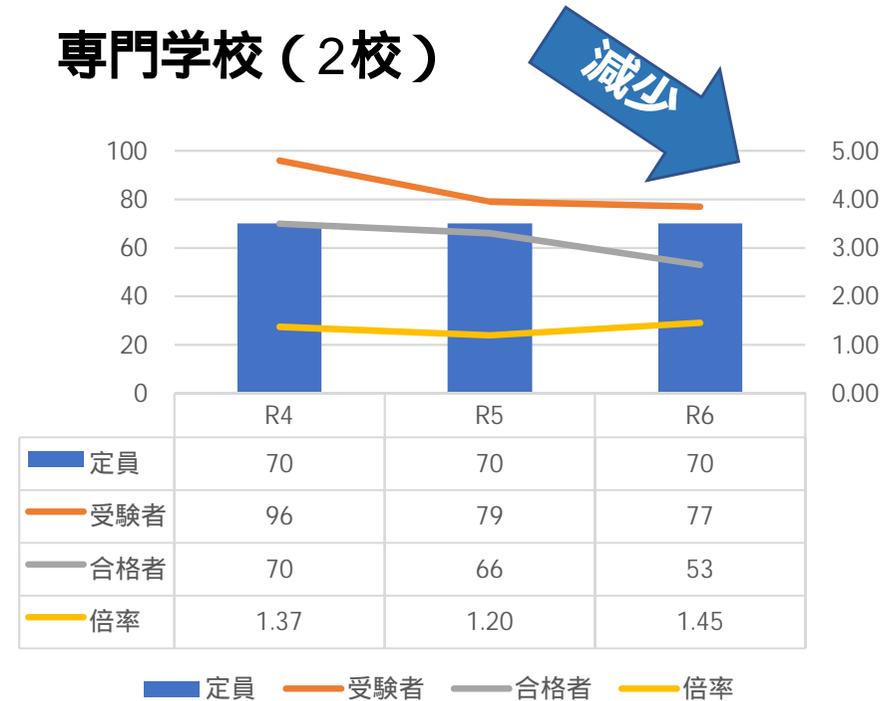
県内学校の入学状況（作業療法士）

全体的に受験者、倍率が減少傾向にあり、かつ受験倍率も1倍台で推移

大学（4校）



専門学校（2校）



- ・茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
- ・横浜リハビリテーション専門学校

入学者情報については一部掲載がないため割愛

- ・神奈川県立保健福祉大学
- ・北里大学
- ・国際医療福祉大学
- ・湘南医療大学

昭和大学は令和5年度よりリハビリテーション学科で統合され、理学・作業療法士別の入学者情報の掲載がないため割愛

リハビリテーション学科の方向性について

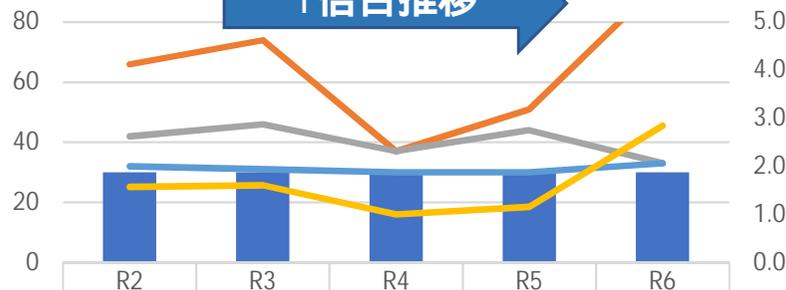
県内学校の入学状況（言語聴覚士）

- ・ 令和6年度の倍率を除き、倍率は1倍程度で推移している。

大学（北里大学）

R6年度除く

1倍台推移

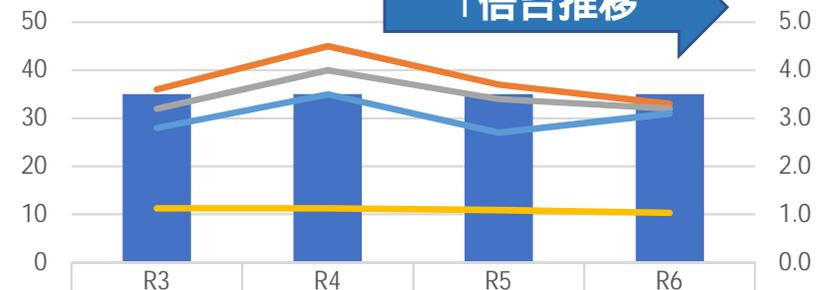


定員	30	30	30	30	30
受験者	66	74	37	51	94
合格者	42	46	37	44	33
入学者	32	31	30	30	33
倍率	1.6	1.6	1.0	1.2	2.8

定員 受験者 合格者 入学者 倍率

専門学校（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

1倍台推移



定員	35	35	35	35
受験者	36	45	37	33
合格者	32	40	34	32
入学者	28	35	27	31
倍率	1.1	1.1	1.1	1.0

定員 受験者 合格者 入学者 倍率

リハビリテーション学科の方向性について

近年のリハビリテーション学科 募集停止事例

少子化等による学生数の減少により募集停止か姉妹校等へ事業継承

出所：各学校HPより作成

施設名	所在地	停止学科	停止時期	理由
北海道千歳リハビリテーション学院	北海道	作業・理学療法士	令和元年以降	大学へ機能移転
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	神奈川	作業療法士	令和7年以降	学生数減少により姉妹校（大学）に継承
彰栄リハビリテーション専門学校	東京	作業療法士	令和7年以降	学生数減少のため
東京リハビリテーション専門学校	東京	理学療法士	平成30年以降	生徒数減少により存続困難のため2021年廃校

リハビリテーション学科の方向性について

■ 厚生労働省における需給分析（理学・作業療法士）

理学療法士・作業療法士は、2026年以降、供給が需要を上回る推計

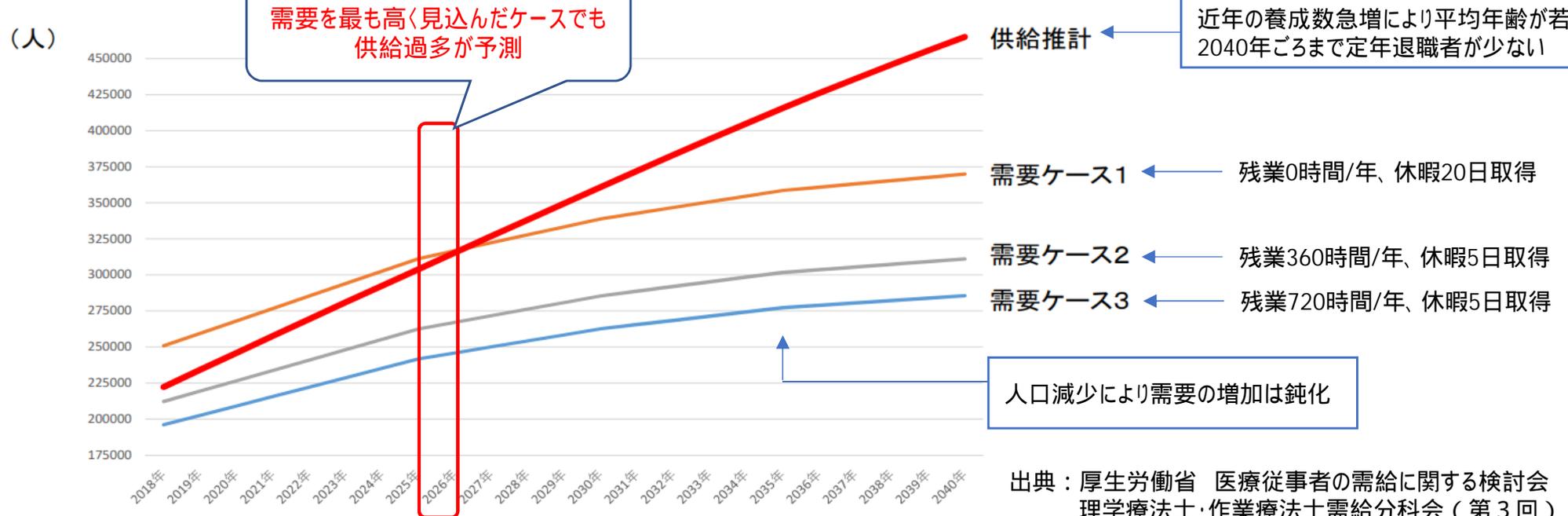
理学療法士・作業療法士の需給推計について(案)

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果となった。

供給推計 全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比(仕事率)を考慮して推計。

需要推計 ケース1、ケース2、ケース3について推計※

※ 精神科入院受療率、外来リハビリ実施率、時間外労働時間について幅を持って推計



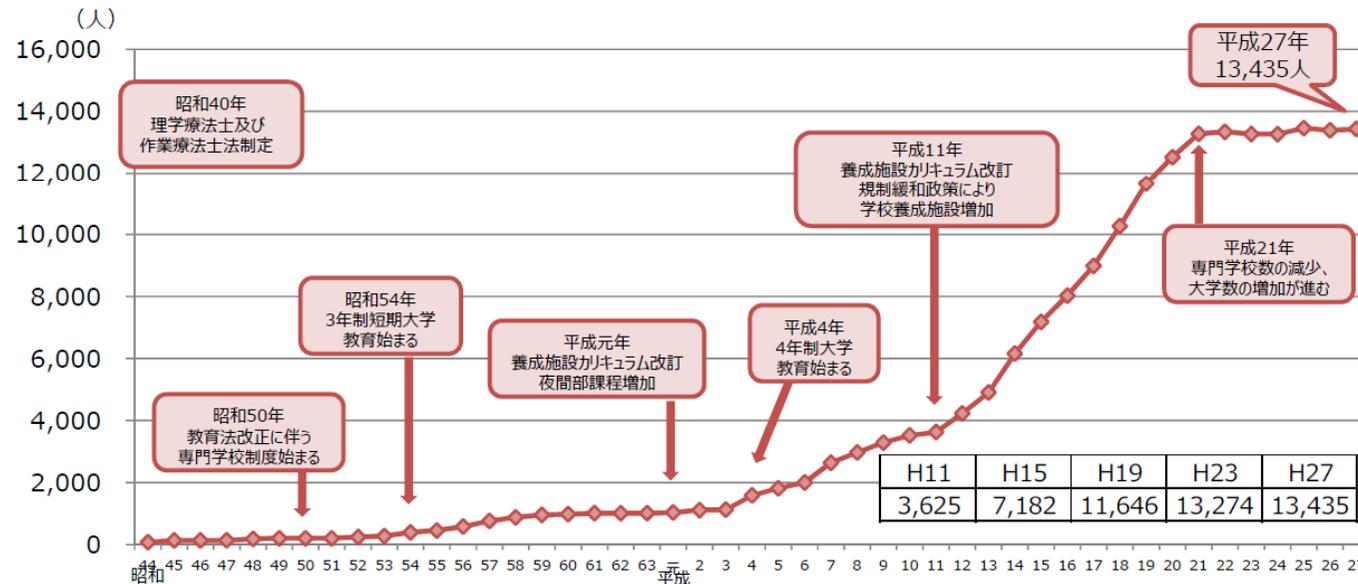
リハビリテーション学科の方向性について

■ 厚生労働省における需給分析（理学・作業療法士）

理学療法士学校養成施設※の入学定員の年次推移

医療従事者の需給に関する検討会
第1回 理学療法士・作業療法士需給分科会
(平成28年4月22日)資料5

制度等の改定に伴い定員数の増加がみられ、平成11年以降は急激に増加している。平成21年からは横ばいで推移しており、平成27年の定員数は13,435人となっている。



※：大学、短期大学、4年制専門学校、3年制専門学校

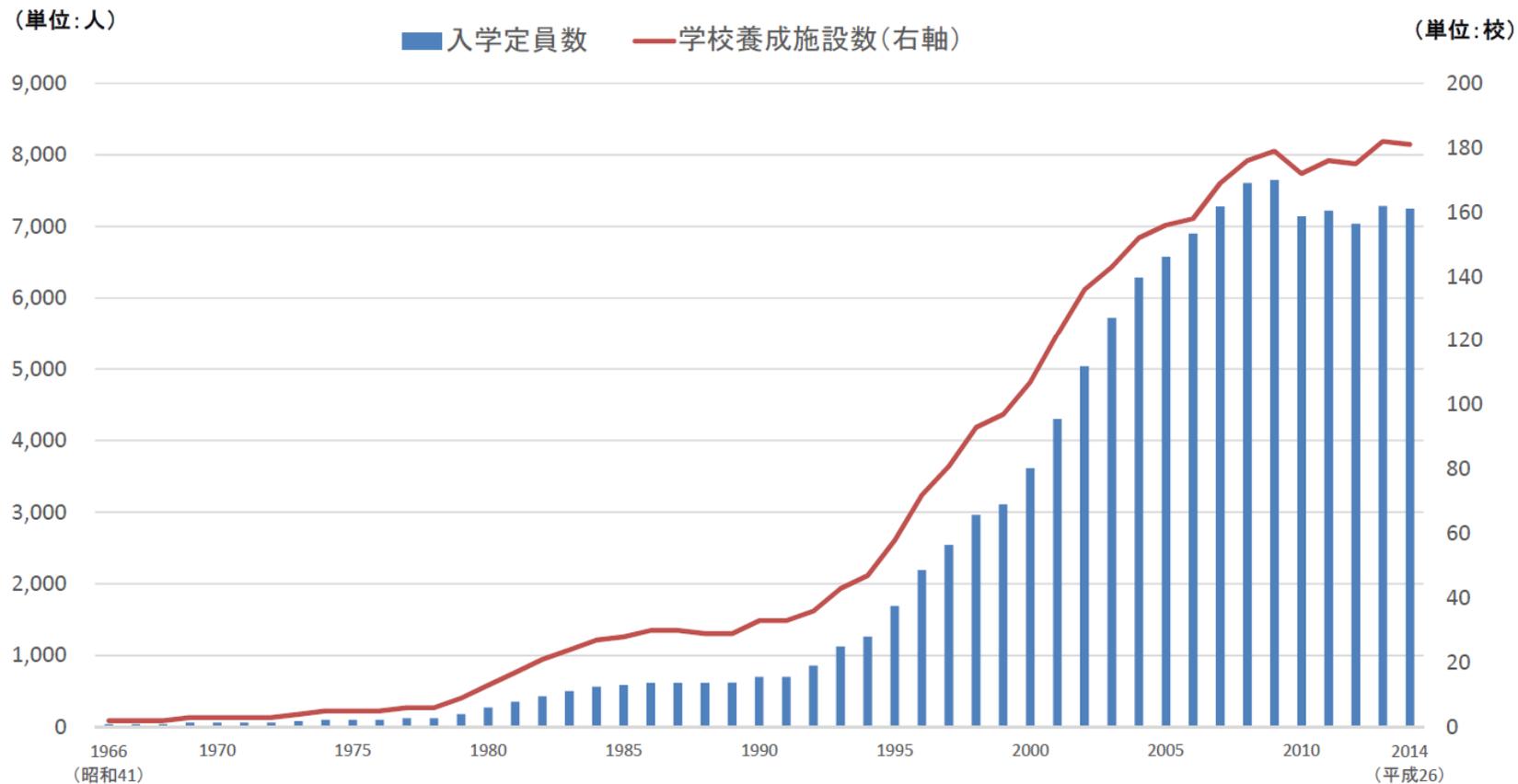
出典：厚生労働省 医療従事者の需給に関する検討会
理学療法士・作業療法士需給分科会（第1回）

リハビリテーション学科の方向性について

■ 厚生労働省における需給分析（理学・作業療法士）

医療従事者の需給に関する検討会
第1回 理学療法士・作業療法士需給分科会
(平成28年4月22日)資料6

作業療法士養成数(入学定員)及び学校養成施設数



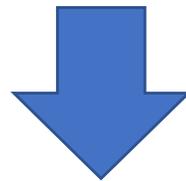
出典:(一社)日本作業療法士協会会員統計資料 3

出典:厚生労働省 医療従事者の需給に関する検討会
理学療法士・作業療法士需給分科会(第1回)

リハビリテーション学科の方向性について

■ リハビリテーション学科設置について（まとめ）

- 大学設置に関する基本的考え方（骨子）では、養成施設数の少なさや、人口10万人あたりの療法士の少なさから学科の設置を検討していた。
- 第1回検討委員会を踏まえ、再検討を進めた結果、近隣養成学校の受験動向や、社会的な需給動向などから、将来的に学生の定数確保が困難であることが推察された。



新設大学での養成（学科設置）は見送る